

平成 27 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 坂井 秀弥

最終学歴	関西学院大学大学院文学研究科博士前期課程修了	
取得学位	学術博士（新潟大学）	
所属学会	日本考古学協会 考古学研究会 日本遺跡学会 木簡学会 条里制・古代都市研究会 新潟県考古学会 たたら研究会 物質文化研究会 文化財科学会ほか	
専門分野	日本考古学 文化財学	
研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・古代の集落・官衙 ・文化財保護の実践的研究 	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・考古学概論 ・考古学研究法 ・考古学特殊講義 ・考古学演習 ・世界遺産文化財学演習
	大学院修士課程担当科目 （博士前期課程含）	<ul style="list-style-type: none"> ・考古学演習 ・考古学特殊講義
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・考古学特殊研究
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・考古学概論
【研究上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・国立歴史民俗博物館基幹研究「戦いと国家形成の環境的基盤－炭素14年代と酸素同位体による古気候復原と社会統合過程との比較照合－」（代表：松木武彦教授）の連携研究者 ・日本における文化財保護と大学教育の関係性と両者の連携についての現状分析と今後のあり方について研究を進める。 	
【教育上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財・考古学の理解のためには、現地・現物に直接触れ、遺跡・文化財が行政的などのように扱われているのか、考古学などの研究がどのように行われているのかを実際に見聞することが重要である。そのため、各科目においては、学外授業を行っている。27年度は、平城宮跡、桜井市・橿原市の遺跡群、五條市五條新町伝建地区などを見学・巡検した。 ・社会的活動として参加している各地の委員会における動向について、すみやかに授業に反映させて、現代の社会における文化財をめぐる諸問題について理解を深めることを行っている。 	
【社会的活動】	文化審議会文化財分科会専門委員 文化庁水中遺跡調査保存検討委員 日本学術会議連携	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	奈良大学博物館長、国際交流委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①『備後国府跡発掘調査報告書』	共著	2016年3月	府中市教育委員会	「国府を中心とした官衙遺跡の保護と備後国府」を分担
②『遺跡をまもってまちづくり』	共著	2016年1月	文化庁・奈良大学	大学で考古学を学ぶ学生を対象にした文化財保護行政に関する説明会の趣旨説明を述べる
③『こしのくに五市国府フォーラム～北陸の国府と交通・交流～』	共著	2015年6月	こしのくに国府サミットin小松実行委員会	「北陸・国府・交通を考える」と題して、日本における律令体制の成立と地方官衙の設置と北陸の状況について解説
(学術論文)				
①大学教育と文化財保護における現状と課題	単著	2015年10月	『一般社団法人日本考古学協会2015年度奈良大会研究発表資料』	埋蔵文化財行政の人材養成と大学教育における現状と課題についての分析
②近世以降の遺跡取扱い覚書	単著	2016年3月	『文化財学報』34集	文化庁平成10年通知以降の各地における遺跡取扱いの現状と課題を分析し、近世以降の遺跡の意義からそのあり方を提言
(学会発表)				
①「文化財保護と国・自治体の役割について」	単著	2015年7月24日	日本学術会議史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会(第23期・第3回)	日本における遺跡・文化財保護の特徴と国・都道府県・市町村に役割について述べた。
②大学教育と文化財保護における現状と課題	単著	2015年10月18日	日本考古学協会奈良大会第3分科会「大学教育と文化財保護」	大学の考古学教育が日本の文化財保護における役割を確認したうえで、大学と文化財保護行政の連携の在り方について報告
(その他)				
①「邪馬台国からヤマト王権へ」		2015年6月4日	山陽特殊製鋼文化振興財団講演会	考古学の研究成果を踏まえて、纏向遺跡の内容と歴史的意義、ヤマト政権の成立についてわかりやすく解説
②「東北地方の城柵設置と関東移民」		2015年7月	奈良歴史地理の会	古代東北歴史について城柵の設置と関東地方からの移民政策についてわかりやすく解説
③「世界遺産と日本の文化財保護制度」		2015年8月21日、10月31日	奈良教育大学教員免許更新講習	世界遺産と日本の文化財保護制度との関係とそれぞれの現状と課題について解説
④「多田銀銅山遺跡の調査と活用」		2015年11月15日	シンポジウム「多田銀銅山ー遺跡の価値を活かしたまちづくり・ひとづくり」	史跡指定された多田銀銅山の意義と今後の活用のあり方について解説
⑤「北陸の国府と交通・交流」		2015年7月11日	こしのくに国府サミットシンポジウム	北陸地方の気候風土や古代の国府、交通の特徴と文化財の保存・活用について解説